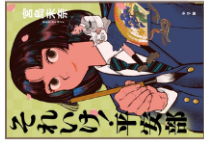


2位



(C)宮島未奈/小学館

それいけ! 平安部

宮島未奈 / 小学館 ¥1,760

『それいけ! 平安部』はこれまでにない部活小説を目指して書きました。高校生の皆さんにはぜひ6人目の平安部員になったつもりで読んでほしいです。

宮島未奈さんより

3位



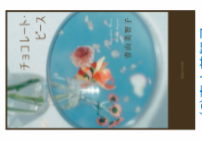
17歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。

びーやま 著 / 高田ふーみん 協力 / ダイアモンド社 ¥1,650

大学受験は大変で苦しいものである一方、自分の手で未来を変えられる絶好のチャンスでもあります。頑張れば頑張るほど人生のリターンは大きいですから踏ん張っていきましょう! ウカレオマエ!!

びーやまさんより

4位



(C)青山美智子 / マガジンハウス

チコレート・ピース

青山美智子 / マガジンハウス ¥1,760

すべての人の一瞬一瞬のきらめきを祝福したい——そんな青山美智子さんの思いが込められた本作品には、ドキドキとキラキラが詰まっています。

高校生にオススメの一編は勿論「チヨコバナナ・コラボレーション」です。

担当編集者さんより

5位



(C)前田めぐる / 青春出版社

その敬語、盛りすぎです!

前田めぐる / 青春出版社 ¥1,100

敬語は社会の入り口。相手を尊重する素敵な言葉です。若い皆さまが楽しみにしながら敬語を使うために、本書がお役に立てればこんなうれしいことはありません。推し本に選んでいただきたばかりがとうございます。

前田めぐるさんより



高校司書 の 推し本

2025

BEST10



1位 謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ / 宝島社 ¥1,650



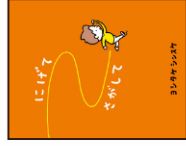
(C)土屋うさぎ/宝島社

何気ない日々の中にも、ミステリーは潜んでいる。

本作は大阪のパン屋を舞台にした、日常の謎を解き明かす優しい推理小説です。笑いあり涙あり、街のパン屋で働く人々のドタバタした毎日をぜひ覗いてみてください。

土屋うさぎさんより

6位



(C)ヨシタケシンスケ / ポプラ社

にげてさがして

ヨシタケシンスケ / ポプラ社 ¥1,320

世の中が、いい人だけになることはいし、悪い人だけになることもない。逃げる決断と探す努力が、あなたをより良い場所に連れて行ってくれる。そのことを信じるだけの価値は、この世界にあると思っています。

ヨシタケシンスケさんより

7位



(C)三浦しをん / 文藝春秋

ゆびさきに魔法

三浦しをん / 文藝春秋 ¥1,980

ゆびさきに宿る魔法、あなたは信じますか?

誰のためでもなく、自分のために「美しくありたい」と願う人々へ、ネイルに魅せられ、極めようと奮闘するネイリストたちの物語が届きますように。

担当編集者さんより

8位



(C)北海道斜里町立図書館 / ワニブックス

図書館のゆるゆる人生質問箱

北海道斜里町立図書館 / ワニブックス ¥1,430

中高生からの質問に対して、図書館の人はこう思うよ。と応えた数々が載っています。悩みや思いについて「ひとつじゃない正解」を楽しんで、そんな世界を「それもアリだよね」と笑って過ごせましょうに。

北海道斜里町立図書館さんより

9位



(C)谷口陽子・高橋香里 / 新泉社

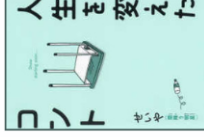
なんで人では青を作ったの?

青色の歴史を探る旅
谷口陽子・高橋香里 / 著、クレメンス・メッツラー / 画
/ 新泉社 ¥2,420

人類がどんな試行錯誤をして「青色」を作り出してきたのか。本書は私たち研究者の仕事の一部を描いた物語です。蒼太郎と律を通して、好きなことを突き詰めていく楽しさを感じてもらえたら嬉しいです。

谷口陽子さん・高橋香里さんより

10位



(C)せいや / ワニブックス

人生を変えたコント

せいや / ワニブックス ¥1,500

「学生時代の経験をいつか本にしたい」せいやさんはそんな夢を持っています。弱い人間だから、人に優しくできる。同じ境遇の人たちに寄り添うことができる——。生まれてきた理由を、一緒に考えてみませんか?

担当編集者さんより

推し本PLUS

「これも読んでほしい！」激アツコメント



ハンディ版 くさい食べ物大図鑑

前橋健二 監修 / 金の星社 ¥1,320

世の中には信じられないほどくさい食べ物があります。滋養のくさい食べ物といえば、ふなずし(鮒寿司)ですね。フナ特有のくさはトップクラスのヤバさで、好きな人苦手な人がくっきり分かります。他にも世界中のくさくて残念で、でも気になる食べ物がいっぱい！必要なのは口に入れる勇氣だけ！

(C)前橋健二 / 金の星社

司書Mより



僕には鳥の言葉がわかる

鈴木俊貴 / 小学館 ¥1,870

子どもの頃から生き物の観察が好きで、彼らはどういうふう
に世界を見ているのだろうと思っていた.....そんな著者によ
る、シジュウカラという鳥の言葉を解明するまでのドタバタ、
好奇心、そして鳥への愛がぎゅぎゅに詰まった一冊がこ
れ。絵がかわいい！話も面白くて笑っちゃう。でもアツい。

(C)鈴木俊貴 / 小学館

司書Fより



クラスで浮いてる宇良々川さん

四季大雅 / 小学館 ¥858

現実にはなかなかないけれど、「鳥人間コンテスト」に出
場して琵琶湖の空を目指す高校生が主人公。イマジナリーフ
レンドは物理学者のアインシュタインの「ハカセ」。いきなり
血まみれで出てきて度肝を抜かれます！ちなみにヒロイン
は物理的に浮いている....。爽やかな青春小説です。

(C)四季大雅 / 小学館

司書Yより

高校司書の の 推し本

2025

湖東地区学校司書研究会

発行年月 2026年2月
Mail: shishooshibon@gmail.com
<問い合わせ先>
滋賀県高等学校教育研究会学校図書館研究部会
湖東地区学校司書研究会 主催

みなさん、高校の図書館に司書がいることを知って
いますか？
実は、滋賀県内の高校にはそれぞれ専任の司書がい
ます。生徒から「なんかおもしろい本ある？」と尋ね
られることもしばしば。
そんなときに「コレ！」とおすすしたい本を、
有志司書で選んだのが「高校司書の推し本」です。
2025年(2024年8月~2025年7月)に出版された本の中
から旬の話題作や心に残る作品が集まりました。
今年はどの本がベスト10に選ばれたのか？ぜひパ
ンフレットを開いてチェックしてみてください！

「高校司書の推し本」とは？

三香見サカ子さんより

薫る花は凛と咲く

三香見サカ子 / 講談社 ¥594



3位

担当編集者さんより

本なら売るほど

児島晋 / KADOKAWA ¥792



2位

山口つばきさんより

フルーベリオン

山口つばき / 講談社 ¥869



1位

ツバカ部門 BEST3